

たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2005年4月28日

55号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

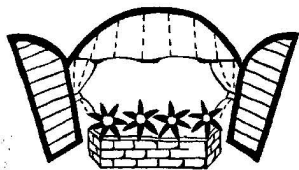
活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

さまざまな地域の中で

障害者も生き生きとした生活を



爽やかな季節となりました。

この一ヶ月個人的な理由から、普段行ったことも無い埼玉県のそれもありました。

道を尋ねるのにもちよつと困るほど、道路の両脇は人家も少なく折から樹木に花が咲き乱れる美しい田園風景がひろがっていました。そんな中で沿道のあちらこちらに福祉法人の看板だけがたっています。おそらくは老人施設が多いのでしょうか。

大きな県立の専門病院に近いところに、障害を持った人たちと支える人たちでやっている小さなレストランがありました。ログハウス風のテラスの付いた素朴なお店で、土地で取れる無農薬の野菜を売ったり、地域作業所などで作った手作り品や、竹炭とその製品なども売るコーナーがあります。メニューは、健康に配慮したランチや飲み物も多く、雰囲気は、なかなかお洒落でいつもにぎわっています。障害者と支える人たちのコンビが絶妙でした。

障害を持った人たちも、仕事に生かされているのか、明るくはつらつとしていました。

お店の裏手へ回ると少しはなれたところに鶏が14羽のどかに飼われています。さらに少し歩くと小さな障害者地域作業所があって、週に3日だけ開かれている。と書いてあります。まことにのどかな風景です。

* * *

横浜のような都市部とは、障害者を取り巻く事情も大きく異なっているのですが、今度のように「障害者自立支援法案」にみるような国の制度のこととなれば、こうしたすべての地域の方たちと色々な事を共有し、ともに手を取り合って行かねばならないのですが、「どのようなかたちで連帯していけるのかな.....」と、ふと思いました。

ともあれ、それぞれの環境の中で、障害を持った人たちが地域と溶け合って生きている姿を見ると、本当にほっとします。

都内の混雑を抜けて、横浜に帰り着くと、グループホームにもいくつもの笑顔があり、今流に言えば“いやされ”る感じがしました。



風が吹いています

港北ふれあい委員会
事務局長 関野 茂喜

青い葉を優しく揺らせ、煙草に汚れた肺を癒してくれそうな、

春の風

樹木を激しく揺らせ、歩くことも逃げることも許してはくれそうもない日もある、

夏の風

澄んだ大気が全てを抱擁し、環^{まわ}りと自己の存在を一瞬、教えてくれそうな秋の風

葉を落とさせ、生き物の活動を眠らせ、人の心さえも一旦停止させてしまう日もある、

冬の風

季節の流れは、その日その時の人の心のように。嬉しかったり悲しかったり、ストレスが爆発したり穏やかになったり、風の流れのようです。

子供の頃、ハンディキャップという風が吹いた後

歩く視線の痛さや、労働環境の悲惨さや、ハンディキャッパーの生きる選択肢の少なさを知った時から、行動の風が自分に吹いた。

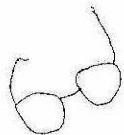
未だ、すべてが到達出来ない、旅に出た気がする

体は今、仕事と病気でボロボロですが、これからもたくさんの不平等にアクションが必要な時代です。なのに強い風や凍てつく風から逃げたいと思う、葛藤の風が吹いている今日この頃です。

横浜市でも例が少ない重度障害者のグループホーム運営に奮闘されている『よつば』関係者の皆様に、共感と感謝を申し上げます。

活動ホームしもだ地域交流バザーへのおさそい

5月15日(日)10:30より14:00まで恒例となった「しもだ」のバザーがあります。「支える会」もボランティアとして参加する他、福祉コーナーに手作り品やお漬物などを中心としたお店を出します。毎年たくさんの人で賑わう大規模な催しですので、お時間があればお出かけ下さい。



めがねのこえ

この前 父母の会の人達と 小田原にある重症心身障害児者生活施設 「太陽の門」を 見学しました。

3年前に出来た新しい施設で 入所者は52人です。入所者たちの部屋は 2人ずつで使うようですが見ることはできませんでした。

昼間は 「よつば」と同じように いくつかのグループに分かれて 一緒に部屋ですごしていました。

3～4人は パソコンが出来てホームページや いろいろなことを見て楽しんでいます。パソコンは 外とのふれあいのために 大切な道具なので使えるように勉強したと 職員の方が話をしてくださいました。私も 話ができないので パソコンのメールが とても役に立っています。

皆が集って過ごしている部屋は 少しきゅうくつそうに見えました。

私は グループホームの方がいいなとおもいました。外の人とのふれあいがあるし 4人みんな普通に住めるし 食事をしたり 入浴したり 話をしたり 自由にできます。

でも「太陽の門」で いいなと思ったことがあります。家族と泊まれる部屋が2つありました。入居者が少しずつ 慣れていくのにも 家族の人が 遊びにゆくのにいいとおもいます。

グループホームにも 体験入居者よりの部屋がありますが 障害者の体験だけでなく『太陽の門』と同じように 使ったら... おじさんや おばさんにもちょっと寄ってもらったり いとこたちにも会えたり 泊まってゆっくり話をしてもらえたら いいなと思う。グループホームが もっと「普通の家」になるのではないかとおもいます。

大 原 友 子

ご入会・ご継続ありがとうございます。

《賛助会員》 山田 秀夫

菅井 とし子

(敬称略) 平成17年4月28日現在



今月のよつばホーム

よつばホーム

寒かった時期もどこへやら、暖かい日々が続いています。やっと安心して週末の外出予定を考えられる季節になりました。

そこで、みなさんにどこへ行きたいか聞いてみました。

福田次郎さん「てんぷら（を食べにいきたいとのこと）、しんすけ君（と遊びに行きたいとのこと）」

藤田博之さん「コンサート（...かな。勢津子さんに誘われていました）」

高島勢津子さん「美術館とか博物館、コンサート。いろいろまわってみたいです」

花岡佐千江さん「映画！」

それぞれいろいろと考えているようです。

ヘルパーさんの協力も得て、だいぶ希望通りの外出が可能な体制がとれるようになってきました。

平日休日とも入居者が充実した生活をおくれるようになればいいねと、日々スタッフ同士で話し合っています。

またみんなでゆっくり過ごしている週末もありますので、お近くにお越しの際はぜひよつばにお立ち寄り下さい。大歓迎です！

第2 よつばホーム

先月1才を迎えた第2 よつばホームですが、よつばホーム同様、週末や休日にはランチを食べに出掛ける機会もだいぶ増えてきました。

今まで出掛けた場所は、港北東急のレストラン、デニーズ、味彩（和食ファミレス）など。まだまだ、よつばホームに比べると外出の範囲が狭いですが徐々に色々な所（みんなの楽しめる所）へ出掛けたいと思っています。

4月より新職員（常勤職員）が入りました。

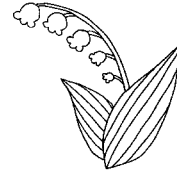
角井 香澄さん（つのい かすみ）22歳。 3月に大学を卒業したばかりの新社会人です。

本人からの自己紹介は後日紹介したいと思いますが、私 菅原の見た角井さんは、

①小さい体でよく動く働き者 ②お笑い好き ③〇〇〇似 ④早くも入居者のみんなに気に入られている この様な方です！？

PS. 今年度のゴールデンウィークは全ての日グループホームを開けていますので、まだ遊びに来ていない方 是非遊びにいらして下さい。

会員更新についてのお知らせとお願い



早いものでまた会員更新のお願いをする時期になりました。

これまで多くの会員のご協力で、充実した活動ができました。

だれもが段々忙しくなる昨今ですが、少しずつ力を出し合って
目的を実現させていくことは、ほんとに素晴らしいことです。

重度重複障害者も地域の中で生き生きと暮らすということは、なかなか大変なことです。

ほとんどあきらめていたグループホームでの生活が実現したことは、他の多くの人達にも小さな希望の光となりました。

これからも決して簡単なことではありませんが、たくさんの会員の支えでこの光を守り育てましょう！グループホームを設立することは、一つの事業ですが、『生活』は毎日毎日続いていく終わりのない営みです。支える会にたくさんの会員の思いが集るということが、日々暮らしている人達や、直接仕事として関わっている人達にも、励ましとなっています。

これからも、「地域で生きる障害者を支える会」の会員・賛助会員として、できる時にできることで、一人一人のライフスタイルに合わせた息の長い活動をお願いします。

会費の納入について

1. 同封の振り込み用紙をご利用ください。直接お手渡しでも結構です。

年会費 会 員：一口 2000円

＊事業の企画、運営、準備活動などにご参加くださる方。

＊できるだけ、総会などの会議にもご出席ください。

賛助会員：一口 2000円 ー何口でもー

＊主として、資金面でのご協力、側面からのご支援等。

団体会員：一口 10,000円から

2. 振り込み用紙に、会員・賛助会員のいずれかご希望をご記入ください

尚お知り合いの方にもご入会をお勧めいただければ幸いです。